

たいよう新聞

478号

11月10日発行

ようこそ、 未来の 仲間たち!

インターンシップで伝える、
建設業のリアルと
太洋基礎工業の魅力



会社の魅力や現場の熱量を伝えるのはもちろん、「人」の温かさに触れてもらうことも大切なテーマである当社のインターンシップ。ビッグプロジェクトの現場見学や本格的な業務体験、そして社員との交流を通じて、学生たちは建設業の最前線に触れました。その様子と舞台裏をお届けします。

採用担当
管理本部 総務部

さん



太洋基礎工業のインターンシップとは?

「施工管理って、理系だけじゃないの?」

太洋基礎工業が募集している職種は、主に工事現場をまとめる“施工管理”という仕事です。私が入社して印象的だったのは、「インターンシップをきっかけに入社を決めた社員が多い」ということでした。現場は一つのチームで成り立っています。先輩・後輩、そして職人さんたちとコミュニケーションを取りながら一つの工事をつくり上げていく中で感じるのが、太洋基礎工業の“人の温かさ”です。文系・理系を問わず、建設業界を知らない学生の皆さんにも、「施工管理の仕事とは何か」を具体的に理解してもらい、業界研究の一つとして視野を広げるきっかけになれば——それが、当社インターンシップの大きな目的です。

「社員の“生の声”に注目してほしい!」

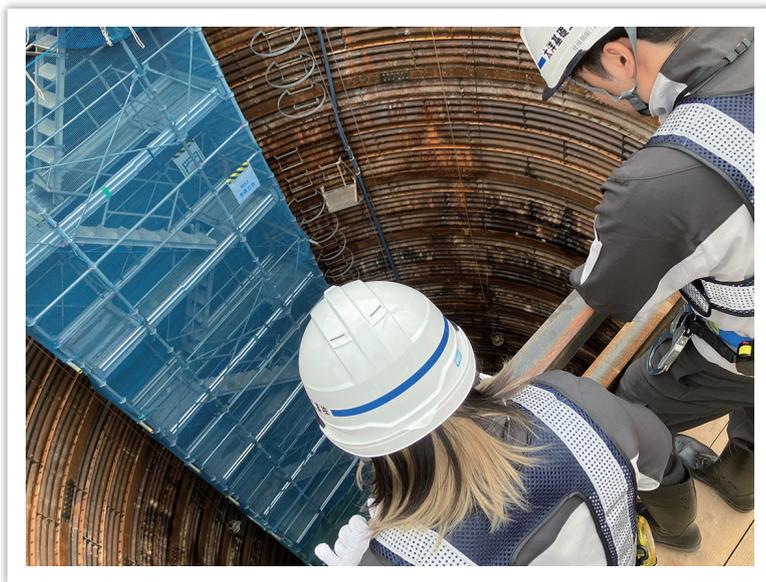
私たちがインターンシップに力を入れている理由は、会社説明会や資料だけでは伝わらない“ホントの太洋基礎工業”を知ってほしいから。採用担当である私も、説明会ではできるだけ会社の雰囲気や現場のイメージをお伝えしています。しかし、私は現場の人間ではありません。もしかすると、綺麗ごとを並べているように聞こえることもあるでしょう。だからこそ、実際に現場に足を運び、社員たちのリアルな声に触れてほしいのです。各支店の空気を感じ、現場で働く社員の率直な言葉を聞くことが、きっと皆さんの将来を考える上で貴重な体験になるはずです。インターンシップに参加して「自分には向いていない」と思っても構いません。その気づきも大切な成果です。でももし、「この会社で頑張りたい」と感じてくれたなら——そのときは、ぜひ飛び込んできてください。私たちが全力でサポートします。

インターンシップの内容

本格的な体験で 現場の最前線に触れる

日程も従来は固定でしたが、今回は最短1日から最長4日まで、学生が自由に選択できるよう柔軟に変更しました。当日はオリエンテーションから始まり、午前中は現場見学と施工管理業務を体験します。昼食は、社員と現場近くのランチを楽しむという内容です。この時間こそ職場の雰囲気を感じられるチャンスであり、太洋基礎工業らしさを体感していただけるポイントのひとつです。午後は測量業務を体験し、最後は社員との座談会で現場の生の声や見学で感じたことを共有し合ってもらいました。

施工管理業務では、現場の安全対策や品質管理、工程管理などを体験。測量業務では、トランシットを用いた角度や水平距離の計測だけでなく、測量ポイントの位置出しや実測データの計算など、社員が隣について丁寧に指導しながら、リアルな業務に触れてもらいました。



印象的だった出来事

学生の皆さんからいただいた温かい言葉

現場に送り出した学生が、帰ってきたときにはキラキラとした表情に変わっていたことが最も印象的でした。最初は緊張していた学生も、現場の社員の対応に触れて、心から楽しんでくれた様子でした。何より嬉しかったのは、「**社員の皆さんが優しくて、本当に参加してよかったです**」という言葉を直接いただいたことです。参加学生の多くが、そこで働く「人」に魅力を感じてくれたのであれば、私たちにとってこれ以上ない喜びです。

“ナンバーワンよりオンリーワン”

—自分らしく輝く会社が、ここにある。

「ナンバーワンより、オンリーワンを目指そう。」

これは、太洋基礎工業の社長がよく口にする言葉です。

私たちの仕事は、建物やインフラの“基礎”をつくる土木施工から、建物そのものを形にする建築施工まで幅広く展開しています。派手さはなくても、社会を根底から支える確かな誇りがあります。この仕事の正解は一つではありません。現場や人が違えば、最適な方法も変わります。だからこそ、一人ひとりが自分の持ち味を発揮できることが、現場を動かす大きな力になるのです。インターンシップでは、そんな“オンリーワンの仕事”の魅力を、ぜひあなたの目で確かめてください。

桜は桜の花を、梅は梅の香りを咲かせるように、あなたもあなたらしい色で、太洋基礎工業に花を咲かせてみませんか？

東京、長野、静岡、 愛知、大阪で、 施工管理職の インターンシップ実施中！

建設業界のリアルがここにある
インターンシップ
募集！

優秀者には
早期選考案内

point 1
オリエンテーション
会社紹介、インターンの説明

point 2
現場見学と実務体験
工法、作業内容、安全管理、現場の雰囲気を知ります

point 3
個別フィードバック
学生の経験力・考察力・コミュニケーション力を評価

schedule	オリエンテーション	9:00~9:30	日程：随時開催
	現場見学	9:30~12:00	時間：9:00~17:00
	ランチ（無料）	12:00~13:00	対象：興味に興味のある学生（文理不問）
	測量基礎体験	13:00~15:00	ランチ無料＆交通費支給＆制服貸与
	個別FB&選考案内	15:00~16:00	

選考スタンダード上場企業
太洋基礎工業株式会社
本社：愛知県名古屋市中川区柳町107
東京・東京 長野 静岡 名古屋 大阪 九州

QRコード：HP Instagram マイナビ2027



詳しくはこちらの
QRコードから！

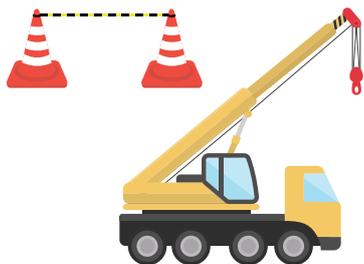
最前線レポート

綾瀬新橋支障物撤去工事

太洋基礎工業が担当したさまざまな現場を紹介するこの企画。今回は、東京都足立区で行われた街路築造工事のうちの、地中障害物の撤去工事です。計画とは異なる障害物が次々と現れる困難な状況に、どのように立ち向かったのでしょうか。

現場概要

現場名	街路築造工事のうち支障物撤去工事(6六-補138 綾瀬新橋)
施工期間	2025年7月10日~10月3日
場所	東京都足立区弘道2丁目
発注者	東京都第六建設事務所
元請会社	京浜建設株式会社
一次請	太洋基礎工業株式会社
現場の人数	太洋基礎工業3名、他3名
施工目的	地中障害物の撤去



東京支店 工事部

Yさん



今回の現場の特徴

BG機という重機を用いてケーシングで穴を掘り、その中の地中障害物を撤去するという特徴があります。計画していたものとは異なる障害物が多かったことも、この現場ならではの課題でした。

苦労した点と乗り越え方

想定外の事態への迅速な対応

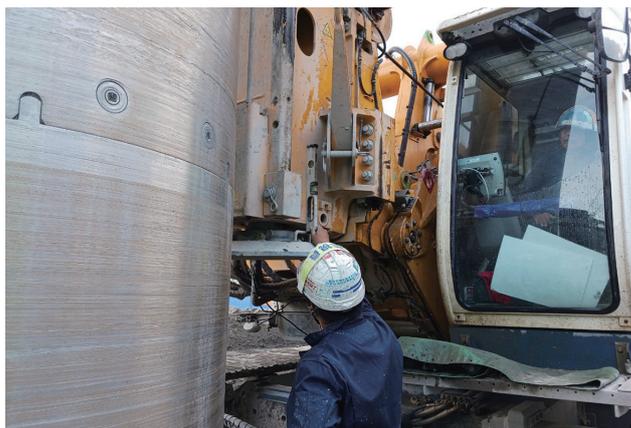
計画と異なる地中障害物が多いため、消耗品の損耗が激しかった点に最も苦労しました。これに対し、施工しながらのビット選定や掘削方法を常に見直すことで対応。また、損耗費が計画より大幅に増加したため、元請の京浜建設とは消耗の状態を密に共有。常に交渉のテーブルにつけるよう管理を徹底していました。



施工を終えて

最後まで貫いた安全意識と綿密な計画

終盤の作業は、地中障害物の最終撤去とBG機の解体作業でした。特に解体作業は、一歩間違えれば大きな事故につながる危険な作業も含まれていましたが、安全設備を確実に使用し、最後まで無事故で完了できるよう、チーム全体で気を引き締めて臨みました。加えて、オペレーターと施工順序を綿密に打ち合わせ、後戻りのない効率的なヤード計画を立てたことで、工期内に無事完了することができました。



現場での珍エピソード

現場のすぐ隣に綾瀬川が流れていますが、その脇道が30km制限のためか、日に3~4件も白バイが取り締まりをしています。特に工事に支障はありませんが、少し緊張感のある現場でした。

KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT

声援

子どもたちの未来のため、安全な土地環境を

私は主に、地下水や土壌汚染の評価といった営業を10年近く担当しています。土地は日々の生活を営む上での基盤であり、その安全性は生命にも関わる重要なこと。土壌汚染浄化ビジネスをさらに進めるためには、技術力や施工方法の向上、それに伴うコストダウンが必要です。私自身2人の子を持つ親であり、子どもたちが公園や庭で安全に過ごせることを常に考えています。土壌汚染は目に見えず、匂いもしません。しかし、体内に入れば毒性があるもの。子どもたちの将来のためにも、安全な土地環境を整えていくことが、私のやりがいです。

「職場づくり」のコミュニケーションと安全行動の動機付け

同じ仕事をするのであれば、やりがい(達成感や成長、貢献等)を感じられる仕事をして、その半面ではストレスなく仕事がしたいものです。若い方においては、同僚や先輩・上司に遠慮なく相談や会話といったコミュニケーションを凶っていただき、信頼関係を築いていただければと思います。言うまでもなく、私もその環境を作りたいと思っておりますし、作っているつもりです。

また、工事現場での危険予知活動(KY)においては、「大切な人への思い」をイメージして、安全意識を高めるための時間を設けている現場も、多々見受けられます。単に職場での事故を防ぐだけでなく、「事故を起こせば大切な人を悲しませることになる」という認識を深めることで、より強い安全行動の動機付けにつながっていくと思います。今後とも、常に「大切な人への思い」の存在を意識して、安全優先で、やりがい(達成感や成長、貢献等)を求めて一緒に頑張りましょう。よろしくお祈りします。



東京支店 環境開発部
部長

Mさん

断捨離 一緒に 始めましょう!

年末にかけて整理整頓を進めようとしている人も多いのではないのでしょうか?

スムーズに進めるために、知っておきたいのが「断捨離」。利点やコツを参考に、実践しましょう!

断捨離のメリット

断捨離はただの掃除ではなく、「物理的な整理」と「心の整理」を組み合わせたアプローチです。年齢や世代に関係なく、誰でも不要な物を手放し、より充実した生活を送ることができます。

個人差があっても必ずしもすべての人に当てはまるわけはありませんが、物が少なくなると集中できる環境が整うことで、「自分自身を見つめ直す機会になる」「ストレスが軽減される」といった精神的な効果も期待できます。

断捨離の進め方のコツ

- 1 収納物をすべて出す**
↓
どれほどの量の物が収納されているのか確認・把握。
- 2 断捨離する主なアイテムをリスト化する**
↓
何を手放すべきかを客観的に判断できるよう、まずは一覧化。
- 3 捨てる物と残す物のルールを決める**
↓
例えば「2年以上履いていない靴は捨てる」などのルール設定で、客観的な判断を。捨てるものが多すぎると後悔することもあるため、捨てる際は落ち着いて考えることも大切。
- 4 「一回ですべて片付ける必要はない」と心得る**
↓
一回で終わらせようと無理をする必要はありません。無理をすると正常な判断ができず、かえって効率が悪くなることも。自分のペースで無理なく進めましょう。
- 5 重要な書類は慎重に扱う**
↓
内容を確認せずに勢いで捨てるのはNG。再発行ができないものもあるため、注意が必要です。大事な書類は事前にリスト化して、見落としを防ぎましょう。なお、書類や証書は薄いものがほとんど。何かに紛れて捨ててしまわないよう、一つひとつ内容を確認することが大切です。